

第75回

和歌山県皮膚科医会 学術講演会

2025年

日時

2月8日(土)
16:30~

WEB開催 (Zoomウェビナー)

事前登録用 : <https://x.qd/xhYrG>

本セミナー・ご講演に関するお願い

本セミナー・講演中の録音、録画、カメラ撮影、スクリーンショットはご遠慮ください。また、不正に撮影された写真等をインターネット上（X（旧Twitter）等）にアップロードすることも禁止させていただきます。ご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



製品紹介

16:30
~16:40

「マルホのアトピー性皮膚炎治療薬について」 マルホ株式会社

和医大 レポート

16:40
~17:10

2024年度 皮膚科専門医試験の解説

座長 神人 正寿 先生 和歌山県立医科大学 皮膚科 教授

演者 野田 佑奈 先生 和歌山県立医科大学 皮膚科

特別講演

17:10
~18:10

ネモリズマブも活用 ～アトピー性皮膚炎と結節性痒疹診療に～

座長 神人 正寿 先生 和歌山県立医科大学 皮膚科 教授

演者 大磯 直毅 先生 近畿大学奈良病院 皮膚科 教授

《特別講演要旨》

アトピー性皮膚炎や結節性痒疹で生じるそう痒は、皮疹の増悪、睡眠障害と生活の質低下に関与する。Interleukin-31 (IL-31) は感覚神経線維と炎症との相互作用に関与し、アトピー性皮膚炎や結節性痒疹の発症と増悪に関わる。ヒト化抗ヒトIL-31受容体Aモノクローナル抗体のネモリズマブはIL-31シグナル伝達経路を阻害し、適正に選択された症例でのそう痒の改善を通じて、皮疹の寛解や睡眠と生活の質改善につながることが期待される。

* 本講演会は、日本医師会生涯教育講座の単位申請を予定しております

共催：和歌山県皮膚科医会/ 和歌山市医師会皮膚科部会/ マルホ株式会社